

施策の取組状況一覧<令和5(2023)年度>

1. 家庭部門

方向性	取組	事業名等	取組内容
(1)脱炭素型 ライフスタイル への移行	①脱炭素型ライフスタイルのきっかけづくり	市政だより	日常生活の中で手軽にできる脱炭素行動や温室効果ガス削減効果の大きい行動等の広報啓発として、市政だより7/1号とあわせて「チャレンジ！脱炭素社会～カーボンニュートラルを実装した都市をめざして～」を全戸配布
		出前講座	「地球温暖化対策・再生可能エネルギー」、「緑のカーテン」をテーマに出前講座を実施 実施件数:26件、受講者数:569人
		温暖化防止ワークショップ事業	温暖化防止ワークショップの実施 回数:20回(参加人数 612人)
		水素リーダー都市プロジェクト	水素で走り発電もできる燃料電池バス「Moving e」等を活用し、イベントにおいて水素エネルギーの普及啓発を実施 イベント数:33件
		ECOチャレンジ応援事業	電気やガスの使用量削減、家庭用LED照明の購入などのエコアクションに対して、交通系ICカードのポイントをインセンティブとして付与 ポイント付与:3,086,740ポイント(参加世帯:2,004世帯)
	②農水産物の地産地消の推進	地産地消の推進	・小学校学校給食における主要18品目の市内農産物の利用割合 31.8% ・市内産農畜産物を食材とした料理教室の開催、産地の見学や生産者との交流会、小学校における野菜の栽培指導などを実施(食と農の体験教室 4回、学童菜園 5校)
	③脱炭素に関する理解促進	環境教育副読本 地球温暖化(脱炭素社会の実現)に関する冊子の作成	・環境教育副読本などによる啓発 「わたしたちのまちの環境」市内全小学5年生に配布 17,000部 「ごみとわたしたち」市内全小学4年生に配布 17,000部 ・ホームページへ掲載
		環境わくわく出前授業	・環境わくわく出前授業(講師派遣事業) 実施回数:40回
		保健環境学習室まもる一む福岡	・来館者数:6,120人 【個人・団体別】 個人:4,557人、団体:1,563人 【大人・子ども別】 大人:2,894人、子ども:3,226人 ・教材等貸出 608人・1,692件

(2)住宅の省エネルギー化	①新築住宅の省エネルギー化の推進	「住まいづくりの手引き」等による広報・啓発	省エネルギー対策など住まいづくりのポイント、助成制度などに関する情報をまとめた「住まいづくりの手引き」を配布:900部発行
		低炭素建築物認定	低炭素建築物認定件数:55件
		脱炭素建築物誘導支援事業	補助件数:22件
	②既存住宅の省エネルギー化の推進	「住まいづくりの手引き」等による広報・啓発(再掲)	※再掲 家庭部門(2)①
住宅窓の改修に関する広報・啓発		・「住宅窓改修の手引き」を活用した広報啓発(情報プラザでの配布等) ・市政だより、福岡市情報プラザ通信、市HPなどによる情報発信	
(3)省エネルギー機器の導入	①省エネルギー機器の普及啓発	HP・市政だより等による広報、手法の導入紹介	・市民・事業者が閲覧しやすいようにHP「脱炭素・地球温暖化対策ページ」を再構築、またSNSを活用しリニューアルしたHPや公式Instagramへ誘導した。誘導先のHP等では日常生活で取り組める脱炭素行動、そのCO2削減効果や光熱費の節約額などを掲載。 (脱炭素関連のSNS広告表示回数実績9,991,107回)
	②住宅用省エネルギー設備等の導入支援	住宅用エネルギーシステム導入支援事業	「エネルギーを創って貯めて賢く使う」自家消費型の住宅用エネルギーシステムの普及推進のため、導入費用の一部を助成。 導入が図られたシステム数:1,314基(住宅用太陽光発電システム:310基、リチウムイオン蓄電システム:568基、V2Hシステム:28基、家庭用燃料電池:214基、HEMS:194基)
(4)再生可能エネルギーの利用拡大	①環境負荷の低い電気を利用しやすい環境づくり	再エネ由来電力共同購入事業	再エネ由来電力の利用が脱炭素につながる有効な取組みであることを、市政だよりやHP、SNSなどで啓発
	②住宅への太陽光発電や蓄電池の導入推進	HP・市政だより等による広報、手法の導入紹介(再掲)	※再掲 家庭部門(3)①
		住宅用エネルギーシステム導入支援事業(再掲)	※再掲 家庭部門(3)②

2. 業務部門

方向性	取組	事業名等	取組内容
(1) 脱炭素経営への移行	① 脱炭素経営の啓発	事業所の脱炭素に向けた啓発	事業者向け脱炭素セミナーを2回実施 (第1回参加者:58名、第2回参加者:64名)
		事業所の省エネ支援事業	・省エネ最適化診断を7事業所に対して実施
		エコアクション21取得支援事業	・エコアクション21(以下、EA21という)普及・導入セミナーの実施 30社 ・EA21取得を目指す事業者に対し、EA21審査員を講師として、集合コンサルティングを無料で実施 4社 ・社会貢献優良企業の認定 30社(うちEA21取得企業分は14社)
		中小企業における脱炭素経営サポート事業	・脱炭素経営についてのセミナー 2回 ・温室効果ガス排出量測定支援 21社 ・脱炭素化への戦略策定等支援 4社
		サステナブルツーリズム推進事業	・CO2排出量の削減を目指す宿泊施設等への支援:30件 ・観光関連事業者の課題に対するアドバイスやマッチング支援:12件
		海辺を活かした観光振興事業	・レンタサイクル導入等による観光客受入環境整備支援を実施(補助対象事業者:2社)
	② サステナブルファイナンスの推進	国際金融機能の誘致	・国際金融に特化したワンストップ窓口「Global Finance Centre」の運営 ・地場企業と海外投資家とのマッチングイベントを開催
(2) 脱炭素関連のイノベーションの創出	① イノベーションの創出に向けた環境づくり	実証実験フルサポート事業	令和5年度採択プロジェクト数:8件 ※脱炭素につながるテーマ以外のプロジェクト含む。
		福岡グリーンイノベーションチャレンジ	中小企業等によるカーボンニュートラルに資する製品開発等を支援 支援件数(補助事業):3件
		福岡市研究開発型スタートアップ成長支援事業	将来的に福岡市の経済をけん引する独自技術を持った研究開発型スタートアップ企業に対し、事業の推進に係る経費等を助成し、更なる成長を支援 採択件数:4件(うちグリーンテック1件)

(3)建築物の省エネルギー化	①新築建築物の省エネルギー化の推進	省エネ性能向上計画	省エネ基準を上回る高い省エネ性能を有する建築物のエネルギー消費性能向上計画の認定 認定数:2件
		脱炭素建築物誘導支援事業(再掲)	※再掲 家庭部門(2)①
		事業所の省エネ支援事業(再掲)	※再掲 業務部門(1)①
		事業所の脱炭素に向けた啓発(再掲)	※再掲 業務部門(1)①
	③建築物の緑化の推進	地区計画制度	「アイランドシティ北地区」、「唐人町二丁目地区」において、緑化率を設定した地区計画の策定
		都心部のまちづくりの推進	天神ビッグバンボーナスや博多コネクティッドボーナスによる民間ビルの建替え時に「みどり」等を誘導 ・天神ビッグバンボーナス認定:1件 ・博多コネクティッドボーナス認定:1件
(4)設備の省エネルギー化	①省エネ設備の新規導入・更新の推進	カーボンニュートラル資金(商工金融資金)	カーボンニュートラル資金:新規1件
	②省エネルギー機器の導入の普及啓発	事業所の脱炭素に向けた啓発(再掲)	※再掲 業務部門(1)①
		事業所の省エネ支援事業(再掲)	※再掲 業務部門(1)①
	事業所の省エネ設備導入支援事業	4事業所に対し、機器の更新費用の一部を助成。(照明のみ2件、照明及び空調1件、空調のみ1件)	
(5)再生可能エネルギーの利用拡大	①環境負荷の低い電気を利用しやすい環境づくり	再エネ由来電力共同購入事業(再掲)	※再掲 家庭部門(4)①
	②ビルや倉庫への太陽光発電や蓄電池導入の推進	事業所の脱炭素に向けた啓発(再掲)	※再掲 業務部門(1)①

3. 自動車(モビリティ)部門

方向性	取組	事業名等	取組内容
(1)公共交通等の利用	①公共交通を主軸とした総合交通体系づくりの推進	地下鉄利用促進事業	・多客時に対応した臨時列車運行(341本/37日)
		都心循環BRT	・運行状況把握のため、都心循環BRTルート上における交通実態調査を実施。 ・利用者の利便性向上のため、都心循環BRTバス停までの経路案内をマリンメッセ福岡や国際会議場などの施設ホームページ上に掲載。
		バス利用環境等の改善(上屋・ベンチ設置)	ベンチプロジェクト ・バス停付近のベンチ設置(民有地:4箇所、市有地:4箇所) ・交通事業者による上屋ベンチ設置 バス停の環境整備 ・道路管理者によるバス停上屋ベンチ設置 7箇所
		公共交通のバリアフリー化(公共交通バリアフリー化促進事業)	ノンステップバス 補助金交付:17台 ユニバーサルデザインタクシー 補助金交付:111台
		生活交通の確保	・市内5路線(今宿姪浜線、板屋脇山線、志賀島島内線、脇山支線、金武橋本線)に対し補助。 ・オンデマンド交通社会実験の実施。
	②地下鉄車両の更新・大規模改修	2000系車両大規模改修事業	地下鉄車両大規模改修時に、主回路制御装置、SIV装置、車内LED照明等の省エネ機器を導入 改修車両は1編成(24編成)
	③公共交通機関の利用を促す啓発やきっかけづくり	モビリティ・マネジメントの実施	転入者向けに公共交通機関の種類や路線図等を説明するモビリティ・マネジメント等の実施。
		パーク・アンド・ライドの推進	①商業施設と連携したパーク・アンド・ライドの推進 木の葉モール橋本等の施設で継続実施 ②「はやかけん」を使ったパーク・アンド・ライド優待サービス 8駅10駅箇所(2024年3月末)
	④交通混雑緩和の推進	自動車専用道路の整備	福岡高速3号線延伸事業の推進 福岡北九州高速道路公社にて物件調査・用地買収及び、本体工事の支障となる地下埋設物の移設を実施
		幹線道路の整備	主要放射環状道路やそれにアクセスする幹線道路の整備 都市計画道路の整備率 85.1%(R5年度末実績)
		連続立体交差事業の推進	事業進捗率 93.4%(R5年度末実績) (参考:令和4年8月28日、西鉄天神大牟田線(雑餉隈駅～下大利駅間)の高架切替)
		フリッジパーキングの実施	・都心部に行く人の駐車場料金割引、乗車人数分の西鉄バス・地下鉄の片道乗車券を進呈。 ・天神地区での通年実施に加え、R5年度より博多駅地区で通年の取組みを開始。 【対象駐車場(2023年度)】 ・天神地区:ボートレース福岡第1立体駐車場、アキラパーキング、グランドパーキング ・博多駅地区:グランドパーキング、住吉パーキング

(2)公共交通等の利用	①自転車、徒歩などで移動しやすい環境整備	自転車利用環境の整備	自転車通行空間の整備 整備延長:約5.5km(累計約143.5km) 駐輪場の整備 整備台数:48,349台(累計)
		誰もが安心して歩ける歩行空間の整備や通学路の安全対策	歩道設置率:27.7%
	②移動を要しない環境づくり	行政手続きのオンライン化	オンラインで利用できる手続きの割合(年間処理件数ベース) 令和5年度末 94.2%
		法人等を対象とした地方税の電子申告及び納税の推進	・市たばこ税、入湯税、宿泊税の電子申告の開始 ・全税目での電子納税(共通納税)の開始 (参考)主な税目の電子申告利用率(令和5年度) 法人市民税 88.9% 個人市民税(給与支払報告書) 66.7%
		コンビニエンスストアにおける証明書交付	令和5年度はコンビニ交付に係る手数料を一律10円へ減額、制度についての広報を実施 コンビニ交付件数:798,145通(有料全体の49.66%)
		ICTを活用したお客さまサービスの向上	・令和6年1月に水道局アプリを開設 これまでもウェブサイトから可能であった入転居の手続き、口座振替等の申込・変更、過去の水道料金等の確認に加え、アプリに届く請求データから水道料金等のPay払いができるようになり、水道料金関係のノンストップサービスを実現
コンビニエンスストアにおける税証明書交付	令和6年1月9日より、税証明コンビニ交付を開始。令和6年1月～3月は手数料を一律10円へ減額。制度についての広報を実施。 税証明コンビニ交付件数:11,766件(有料の所得証明・納税証明全体の29.6%)		
(3)自動車の脱炭素シフトの推進	①電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車の導入推進	次世代自動車の普及に向けた支援事業	次世代自動車展示会(10/7実施)の開催 電気自動車等の購入に関する費用の一部を助成 電気自動車等購入助成:682台 法人に対し、燃料電池自動車の購入経費の一部を助成:2台
		次世代自動車の普及に向けた支援事業	公共施設に急速充電設備を3基設置(①南体育館、②福岡市海浜公園、③西南杜の湖畔公園) 電気自動車用充電設備設置に関する費用の一部を助成 電気自動車用充電設備設置助成:128基
	②充電・充電インフラ整備の推進	福岡市水素ステーションの運営	下水バイオガス由来の水素ステーションを官民連携で運営。 燃料電池自動車への水素充填台数:452台、充填量:1,514kg
		FCモビリティの導入促進	FC給食配送車(3台)、FCごみ収集車(1台)の導入 FC救急車(1台)の実証開始
③物流分野などでの脱炭素化の推進	カーボンニュートラルポート形成推進	・博多港の脱炭素化を促進する「博多港カーボンニュートラルポート形成計画」を2023年11月に策定。 ・計画に基づき、コンテナターミナル等における照明のLED化、市有船舶におけるバイオ燃料導入の実証実験等を実施。	
(4)シェアリング等の推進	①シェアリングサービスの利用推進	次世代自動車の普及に向けた支援事業	西部地域交流センター「さいとぴあ」にて、EVカーシェアリング事業を開始
		「はやかけん」を使ったレール&カーシェアサービス	「はやかけん」を使ったレール&カーシェアサービス 5駅11箇所(2024年3月末)
		福岡スマートシェアサイクル事業「チャリチャリ」	シェアサイクル(チャリチャリ)の市内ポート設置数:708か所(令和6年3月末時点)

4. 廃棄物部門

方向性	取組	事業名等	取組内容
(1) 廃棄物の減量	① プラスチックごみの削減	福岡市マイボトル協力店制度	登録店舗数71店舗(R5年度末現在)
		給水スポットの設置	新たに、なみきスクエア、博多市民センター、東体育館、早良体育館、西体育館、今津運動公園に設置(令和5年度末時点 計19施設)
		給水スポットの設置	新たに、アイランドシティ中央公園、福岡市動物園に設置 イベント等で活用できる可搬式給水スポット1台を導入
		イベント等でのワンウェイプラスチックの削減推進	地域イベント等において、ワンウェイプラスチック削減のため、環境配慮型容器の導入を支援し、イベント運営者や来場者に認知度向上へ向けた広報・啓発を実施。
	② バイオマスプラスチックなど代替素材への転換の促進	ごみ袋へのバイオマス素材の導入	①ラブアース・クリーンアップ(バイオマス25%以上) 【作製枚数】 45L:84,000枚、15L:22,000枚 ②地域ぐるみ清掃(バイオマス25%以上) 【作製枚数】 45L:97,000枚 ③環境美化袋(バイオマス25%以上) 【作製枚数】 45L:134,000枚 (内訳 可燃:128,000枚 不燃:6,000枚)
	③ 食品ロス削減の推進	家庭での食品ロス削減	①出前講座 18件529名 ②常設フードドライブ回収量 4,759個 1,359.4kg ③フードドライブイベント回収量 897個 249kg ④家庭で廃棄する未使用の食品や食べ残しを記録する「食品ロスダイアリー」を小学4年生へ配布(約16,000部)
		フードバンク活動推進事業	NPO法人フードバンク福岡主催のシンポジウムにおける名義後援

(2)資源の有効活用	①プラスチック資源循環に向けた取組みの推進	プラスチック回収モデル事業	戸別収集モデル事業の実施 (プラスチック製品及び容器包装プラスチック回収):3か月間実施し、約21t回収。 拠点回収(プラスチック製品回収):1年間実施し、約12t回収。	
		3R推進事業(製造メーカーによる自主回収の支援)	製造メーカー(ユニリーバ、ファンケル、パイロット)の自主回収について広報を行った。 ポスターを作成し、協力店(小売事業者9社)の店舗で掲示し、啓発を実施した。	
		新たなペットボトルリサイクルの仕組み検討	家庭から排出されたペットボトルの全量を試行的にボトルtoボトルリサイクルにより処理 回収量:4,100t	
	②食品廃棄物の資源化の推進	生ごみリサイクル推進事業	①生ごみ堆肥を使った菜園講座 12回/112名 ②段ボールコンポスト使い方講座 6回/110名 ③一人一花運動連携講座 4回/49名 ④生ごみ堆肥化容器の購入補助 補助金交付件数:306件(容器:291件、電動15件)	
		事業系食品廃棄物の資源化推進	食品廃棄物資源化施設の稼働開始に向け、排出事業者に対してチラシ配布等の周知を行ったほか、特定事業用建築物の立入検査時に資源化を誘導	
	③環境配慮型商品の普及促進	環境配慮型商品の広報	小学4年生向け社会科副読本「ごみとわたしたち」17,000部配布	
		事業系ごみの資源化技術実証研究等への支援	スーパー等から排出される廃棄野菜を活用した商品の開発を支援	
	④廃棄物処理施設の脱炭素化に関する調査・検討	公民連携ワンストップ窓口mirai@を活用したCO2分離回収に関する実証実験	令和6年1月にmirai@共働事業テーマ型公募「プラントテック」において、ごみ焼却による排ガスからのCO2分離回収に関する実証実験の実施事業者を公募。	
	(3)廃棄物埋立技術の国際貢献	①技術協力による海外の脱炭素化への貢献	準好気性埋立構造「福岡方式」の普及・導入による環境分野の技術協力	国際視察・研修受入 海外技術者等への研修 263名 ※オンライン研修、下記視察・研修受入含む 海外視察受入:10か国、79名 JICA研修受入:9か国、16名
	(4)フロン類の適正管理	①適正廃棄の啓発、適正回収の確認	自動車リサイクル法に基づく適正なフロン回収	自動車リサイクル法に基づく適正回収の確認 立入件数:37件

(2)再生可能エネルギー由来電力の利用拡大	①環境負荷の低い電気を利用しやすい環境づくり	再エネ由来電力共同購入事業(再掲)	※再掲 家庭部門(4)①
(3)エネルギーマネジメントシステムの導入・普及	①住宅、建築物内でのエネルギーの効率的な利用の推進	住宅用エネルギーシステム導入支援事業(再掲)	※再掲 家庭部門(3)②
	②地区・街区単位でのエネルギーの効率的な利用	まちづくりへの水素実装	九州大学箱崎キャンパス跡地において、水素供給パイプラインの仕様検討等を実施。
	③電力需給調整への貢献	水道施設におけるデマンドレスポンス	<p>電源I' 廠気象対応調整力に関する契約を締結</p> <ul style="list-style-type: none"> ・契約期間: 2023年4月1日～2024年3月31日 ・対象施設: ①室見取水場、②番托取水場、③多々良取水場 ・契約需要削減量: 600kW

6. 炭素吸収施策

方向性	取組	事業名等	取組内容
(1)森林等の 保全・再生	①森林の整備の推進	森林環境整備事業	間伐:38.8ha
		市営林造林保育事業	保育間伐等 89.94ha
		市内水源かん養林整備事業	水源かん養林整備 育林整備 41ha(下刈11ha 除伐16ha 間伐14ha) 水源林ボランティアによる整備活動 回数 55回 参加延べ人数 600人
		市外水源かん養林整備支援事業	市外水源かん養林整備支援(糸島市・那珂川市) 下刈・間伐8.84ha 市外水源かん養基金支援事業(朝倉市・東峰村) 下刈り・間伐・造林174.14ha
		主伐推進事業	主伐:3.00ha 森林作業道設置:893.3m 造林:2.56ha
		森林・山村多面的機能発揮対策交付事業	地域住民等が実施する地域の里山林の保全管理等の活動に対し、一定の費用を支援 活動団体 3団体
		森林経営管理制度推進事業	適切に管理されていない森林について、所有者への意向調査意向調査:531件(378ha)
		ボランティア体験プログラム「ハジメのイッポ」	・森林保全等のプログラム プログラム数 4 参加者数 14人
		福岡市水源の森づくり共働事業	企業ボランティア協定数 3団体 面積 計6.9ha
	②クレジットの活用	森林によるカーボン・オフセット推進事業	福岡市営林間伐をもとに、森林の二酸化炭素吸収量をクレジット化したものを売却 売却量:337t-CO2
(2)森林等の 保全・再生	①森林に親しむ環境 づくり	市民の森管理費	ABURAYAMA FUKUOKA 施設利用者数:597,851人
		油山市民の森等リニューアル事業	【R5年度 事業終了】 R5.4 第1期リニューアルオープン R6.4 グランドオープン
		森の恵み体験活動	森里川海のつながり体験活動:森編、里川編、海編各1回 森のワークショップ:1回 生きものと私たちのくらし展(生物多様性に関するパネル展):1回
	②農地土壌への炭素 貯留などの推進	環境保全型農業直接支払交付金事業	生物多様性保全等に効果の高い営農活動に対し支援を実施 ・事業実施主体:農業者団体1団体(市内農地での取組農家24戸) ・取組内容:化学肥料、農薬の5割低減の取組み、レンゲの作付、堆肥の投入、有機農業の取組み

(3)木材利用	①木材利用の啓発	地域産材利用促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・中央区役所1階カウンター等木質化 ・東区役所本館正面入口等木質化 ・西区西部出張所窓口カウンター木質化 ・西都北公民館木質化
	②安定的な木材利用の仕組みづくり	林業資源ビジネス化プロジェクト	利用間伐:3.85ha 森林作業道設置:1430.7m
(4)みどりあふれるまち並みの形成	①公共用地や民有地の緑化の推進	身近な公園整備事業	身近な公園整備:6公園
		公園再整備事業(公園再整備事業)	公園再整備:17公園
		緑化推進事業	街路樹再整備:4路線
		地区計画制度(再掲)	※再掲 業務部門(3)③
		都心部のまちづくりの推進(再掲)	※再掲 業務部門(3)③
(5)ブルーカーボンの創出	①藻場の保全・再生	海の森づくり事業	藻場の状況調査、海藻の種系等の設置、追跡調査
		豊かな海再生事業(藻場造成事業)	海藻の母藻等の設置、食害防止ネット 点検・補修、追跡調査
	②生育環境の調査・把握	水質監視	<ul style="list-style-type: none"> ・水質汚濁防止法に基づき海域の水質モニタリングを実施し、環境基準の達成状況を把握。(環境基準点8地点で月1回、補助地点3地点で年4回) ・ホームページや年次報告書等により結果を公表。
		博多湾環境保全計画の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・生物指標モニタリング調査 ・藻場分布調査 ・貧酸素発生状況調査(5~11月)16地点中6地点で発生
	③アマモ場づくり活動の推進	博多湾の環境保全創造事業	<ul style="list-style-type: none"> ・今津や志賀島で種子散布を行うなど、多様な主体と共働したアマモ場づくり活動を実施。 ・博多湾の藻場によるR4年度のCO₂吸収量(42.5t-CO₂)をクレジット化して販売し、収益をアマモ場づくり活動に活用。

7. 適応策

方向性	取組	事業名等	取組内容
(1)自然災害・沿岸域	①浸水対策	「雨水整備Doプラン2026」	・「雨水整備Doプラン2026」 雨水管や側溝等の整備(12地区完了)
		「雨水整備レインボープラン天神」	・「雨水整備レインボープラン天神」第2期事業 雨水管の整備(中部12号幹線等)
		流域貯留浸透事業(那珂川流域、樋井川流域)	地質調査、測量、設計、治水池整備等
		雨水貯留施設整備事業	本市所管の公共施設を対象とした雨水流出抑制を推進
		雨水流出抑制対策の推進	本市所管の公共施設を対象とした雨水流出抑制を推進
		河川改修事業	護岸工(周船寺川L=53m、金屑川L=27m) 測量、設計、補償 等
		局地的豪雨対策緊急事業	根継工(大谷川L=38m)
		雨水流出抑制施設助成制度	雨水貯留タンク:36件 雨水浸透施設:1件
	②避難行動の周知	ハザードマップ(洪水、内水、土砂災害、高潮、津波)の提供	・内水ハザードマップの作成 ・洪水・高潮ハザードマップの増刷 ・総合ハザードマップの更新、保守
		出前講座や市政だより、各種イベント	・出前講座(実施回数:117回、参加人数:5,270人(R5年度)) ・市政だより(6/1号)、福岡市防災フェア等を通じて、適切な避難行動についての知識の普及・啓発
		防災情報システム	・観測機器の更新および運用保守 ・福岡市防災気象情報ホームページの保守
		減災対策	令和6年梅雨前の浸水想定区域の指定を目指し検討を実施(令和6年5月27日に天神周辺地区内水浸水想定区域図(想定最大規模)を公表済)。
		ハザードマップ(ため池)の提供	・ため池ハザードマップの作成(57池) ・ため池ハザードマップの印刷・配布(28池) ・ため池ハザードマップの周知看板設置(29池) ・総合ハザードマップの更新(28池)
		ハザードマップの多言語化、避難場所標識	避難場所標識看板について、未設置施設に対し設置(令和5年度は5箇所6枚を設置)
		林道保全事業	林道防災工事 林道4路線 702m

	③土地災害の防止	市営林造林保育事業	※再掲 炭素吸収施策(1)①
		林業資源ビジネス化プロジェクト	※再掲 炭素吸収施策(3)②
		市外水源かん養林整備支援事業	※再掲 炭素吸収施策(1)①
		市内水源かん養林整備事業	※再掲 炭素吸収施策(1)①
		水源林ボランティア共働事業	水源林ボランティア 活動回数55回、参加延べ人数600人
		企業との共働事業	企業ボランティア協定数3団体、整備面積計6.9ha
	④高潮・波浪など海岸災害の対策	海岸整備事業	和白護岸 護岸改良 L=25m 仮設工 1式
		松くい虫防除による住環境保全対策事業	伐倒駆除:1408本 薬剤地上散布:100.96ha 樹幹注入:640本
(2)健康	①熱中症予防に関する注意喚起	熱中症対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・「福岡市温暖化対策推進会議」にて、全庁へ熱中症対策の取組み実施を依頼 ・暑さ指数予測、救急搬送者数、予防方法、対処方法等をホームページや市LINE、防災メールにより情報発信 ※暑さ指数予測最高値31以上の場合:市LINE、防災メールにて注意喚起発信 ・SNSを活用したタイムリーな注意喚起を実施 ・オリジナルリーフレット等啓発品を配布 ・街頭ビジョン、庁内施設(区役所)ディスプレイでの動画放映 ・市政だよりによる高齢者への注意喚起 ・民生委員や社会福祉協議会を通じた高齢者へのチラシ配布 ・出前講座を実施 ・乳幼児健診時に予防啓発、応急手当の講習などの実施 ・市民体育館、児童福祉施設、市立学校、障がい者施設や介護保険関連事業所等へ注意喚起
	②感染症予防に関する注意喚起	感染症にかかる情報提供	蚊が媒介する感染症について、ホームページを利用し、注意喚起を実施。
	③大気汚染物質のモニタリング	大気監視、黄砂・微小粒子状物質(PM2.5)対策	<ul style="list-style-type: none"> ・大気汚染防止法に基づき、大気汚染物質の常時監視を実施し、環境基準の達成状況を把握。 ・ホームページや年次報告書等で、調査結果を公表

(3)農業・林業・水産業	①気温上昇に適応した農業経営の推進	農業指導センターの活動	<ul style="list-style-type: none"> ・高温障害耐性を有する品種「実りつくし」への特性把握 ・高温障害対策について、県、JAと協議し、「稲作だより」にて周知
		都市近郊野菜産地等整備事業	施設園芸農家に対して、省力栽培温室等の施設整備及び改修・補強による長寿命化や機械導入経費の支援を行った。(7事業主体) <ul style="list-style-type: none"> ・栽培品目:イチゴ、トマト、軟弱野菜、ブドウ、花き ・受益戸数:20戸
		畜産環境整備経営対策事業	畜産農家の設備や家畜の導入等に対する支援を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・設備導入:ふん尿処理設備(1戸)、堆肥散布機(4戸)、堆肥製造用機械(1戸)
		アグリDXプロジェクト(スマート農業推進)	スマート農業技術について、実証実験を行い、効果を検証するとともに、活用が見込める技術の情報発信等を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・実証実験の実施:3件(ドローンを使用したトマトハウスへの遮光剤塗布、育苗センターでの薬剤散布、アシストスーツを使用した労働者の負担軽減) ・研修会の実施:1回
	②林業の振興	森林環境整備事業(再掲)	※再掲 炭素吸収施策(1)①
		森林経営管理制度推進事業(再掲)	※再掲 炭素吸収施策(1)①
		松くい虫防除による住環境保全対策事業(再掲)	※再掲 適応策(1)④
	③藻場の保全	藻場造成事業	※再掲 炭素吸収施策(5)①
		海の森づくり事業	※再掲 炭素吸収施策(5)①
	(4)水環境・水資源	①河川、海域等の環境モニタリング	水質監視
博多湾環境保全計画の推進			※再掲 炭素吸収施策(5)②
水質検査			<ul style="list-style-type: none"> ・水質検査計画に基づき、水源の水質検査を実施 ・ホームページや年次報告書により、検査結果を公表
②水資源確保		市外水源かん養林整備支援事業	※再掲 炭素吸収施策(1)①
		市外水源かん養基金支援事業	市外水源かん養基金支援事業(朝倉市・東峰村) 下刈り・間伐・造林174.14ha
		福岡市市民団体水道水源かん養等活動助成金事業	市民団体による植樹や交流等に助成を行う。 福岡市市民団体水道水源かん養等活動助成金事業 事業回数 2回 参加延べ人数 105人
		市外水源かん養林整備支援事業	水源地域との交流事業 事業回数 7回 参加延べ人数 763人

		配水調整事業	遠方監視制御装置の計画的な更新を実施(更新14箇所)
		漏水防止事業	漏水調査延長:3,008km(うち漏水発見407件) 電気防食保守点検:177箇所 電気防食対策工事:1箇所 漏水防止給水管取替工事:1,367件
		浸透施設の導入	透水性舗装等: 65,054㎡ 浸透側溝等: 2.1km
③節水や水の有効活用の推進		節水機器の普及啓発、「水をたいせつに」広報の推進	・水道局ホームページにて上手な節水方法を紹介。 ・ソラリアステージでの街頭キャンペーン、ポスター掲示やSNSなどを通じて、節水啓発活動を実施。 ・水の大切さをテーマにした絵画コンクールや「スプリング」アプリワークショップを実施。 ・小学生向け社会科副読本「水とわたしたち」、広報紙「みずだより」を発行。
		再生水利用下水道事業の推進	全体供給区域:1,528ha(中部地区:1,020ha、東部地区:508ha) 供給箇所数:527箇所(16箇所増)
		雨水流出抑制施設助成制度(再掲)	※再掲 適応策(1)①
(5)自然生態系	①自然環境調査	博多湾環境保全計画の推進	※再掲 炭素吸収施策(5)②
		自然環境調査	・植生等調査の実施と調査結果の情報発信 ・アライグマ生息調査の実施と調査結果の情報発信 (アライグマ捕獲従事者講習会については福岡県が実施) ・特定外来生物に対する相談対応 相談件数:99件 ・特定外来生物に関する情報発信 ・外来生物問題連絡会議の開催 幹事会:1回開催
	②自然環境の保全	生物多様性ふくおか戦略の推進	森の恵み体験活動 ・森里川海のつながり体験活動:森編、里川編、海編各1回 ・森のワークショップ:1回 ・生きものと私たちの暮らし展(生物多様性に関するパネル展):1回 ふくおかレンジャー ・養成講座(自然観察会含む):7回 ・活動支援:9回 里海保全再生活動 ・カプトガニ卵塊幼生調査 ・保全活動:1回 ・環境学習:2回 ・今津干潟で活動している団体による情報交換会:1回
環境影響評価の推進、福岡市環境配慮指針の適切な運用		・事後調査報告書審査 5件 ・各種開発事業の許認可等に際した意見提出 139件 ・環境に影響を及ぼすおそれのある事業への環境配慮の促進 9件	

(6)経済活動・市民生活	①経済活動の機能不全への備え	備蓄促進ウィーク	事業に賛同した企業12社の各店舗等(計50店舗等)に対して、防災グッズや備蓄食品などの販売コーナーの設置やポスター掲示などを協力依頼
		災害時応援協定	災害時に必要な応援協定の締結 物的支援:5件、避難所等施設提供支援:2件、 帰宅困難者支援:4件を締結
		ホームページ等による啓発	・市HPにBCPの概要やBCP策定に役立つ参考リンク先を掲載
		緊急輸送道路の整備	地震や台風などの災害時において、円滑な人命救助や物資輸送路の確保を目的として、緊急輸送道路の整備(拡幅、橋梁の耐震補強など)を推進 R5年度の実施内容 千代今宿線(興徳寺橋):橋梁耐震補強工事
		無電柱化の推進	・福岡市無電柱化推進計画(R3~R7)の推進 ・電線共同溝等の整備 無電柱化整備延長(R5年度末):160.3km
	②ライフラインの確保	住宅用エネルギーシステム導入支援事業(再掲)	※再掲 家庭部門(3)②
		次世代自動車の普及に向けた支援事業(再掲)	※再掲 自動車部門(3)①
		市有施設の太陽光発電設置可能性調査事業	PPA・リース設置・市の直接設置のパターン別に、5施設(公民館・学校・消防署・障がい福祉施設・保育所)への最適な太陽光発電設備の設置手法の検討を実施
		出前講座	「地球温暖化対策・再生可能エネルギー」をテーマに出前講座を実施 実施件数:23件、受講者数:530人
		事業所の脱炭素に向けた啓発(再掲)	※再掲 業務部門(1)①
		無電柱化の推進(再掲)	※再掲 適応策(6)①
		災害時の電力確保	公民館において可搬型外部給電器とEV等を活用した電力供給訓練を実施するとともに、電力供給方法をマニュアル化した
		重要施設の耐水化	・緊急時給水拠点への送水拠点である塩原送水ポンプ場耐水化工事の実施設計委託を1件発注
	③災害ごみの処理	災害廃棄物対策	災害廃棄物処理対応研修を実施
		災害廃棄物対策	廃棄物業務マニュアル、災害発生時の事務取扱の改定
	④ヒートアイランド現象の緩和	緑化の推進	街路樹再整備:4路線
	⑤住宅での暑さ対策	緑のカーテンプロジェクト	・市民や事業者の取組みを募集し、優れた作品を表彰する緑のカーテンコンテストを実施 緑のカーテンコンテスト応募件数:73件 緑のカーテン実施市有施設数:193施設
		国等の補助金制度の情報提供等	・市HPに国等の補助金制度の概要を掲載 ・「住宅窓改修の手引き」を活用した広報